

2022年1月14日

## 東京スター銀行 金融仲介の取組状況を客観的に評価できる 指標群(KPI)公表について

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 多田 正己)は、金融庁が令和元年9月に設定した金融仲介の取組状況を客観的に評価できる指標群(KPI)について、令和3年度上期(2021年4月~9月)における以下2指標を取りまとめましたので、お知らせいたします。

- 指標 1. 新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合
- 指標 2. 事業承継時における保証徴求割合(4類型)

当行は、平成29年度(2017年度)上期に「事業性評価プログラム」を開始しました。お客さまの事業内容や将来性、経営の強み・弱みなどを正確に把握した上で融資や経営助言等を行うなど、経営者保証に依存しない融資に積極的に取り組んでいます。さらなる顧客支援の強化を目指し、お客さまと継続的にコミュニケーションを取ることで、お客さまの課題解決および関係構築につなげています。

また、後継者問題を抱えている中堅・中小企業のお客さまに、多くの事例や経験にて培った高度な専門知識やネットワークを駆使し、さまざまなファイナンス手法やアドバイザーサービスなどのソリューションをご提供することで、今後も円滑な事業承継を支援してまいります。

以上

\* 公表資料については、次ページをご覧ください。

＜本件に関するお問い合わせ先＞  
株式会社東京スター銀行 法人企画部 高橋  
〒107-8480 東京都港区赤坂 2-3-5  
TEL:03-3224-7386 FAX:03-3224-3879

## 公表資料: 金融仲介の取組状況を客観的に評価できる指標群(KPI)について

<b>当行の取り組み</b>	事業性評価等を積極的に進め、経営者保証に依存しない融資に取り組んでおります。
----------------	--

金融仲介の取組状況を客観的に評価できる指標群(KPI)		2020年度 実績	2021年度 実績
指標1.	新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	上期 87.2% 下期 89.8% 通期 88.6%	上期 89.5%
指標2.	事業承継時における保証徴求割合(4類型)		
	・新旧経営者から保証徴求	上期 0% 下期 -% 通期 0%	上期 0%
	・旧経営者のみから保証徴求	上期 100% 下期 -% 通期 100%	上期 100%
	・新経営者のみから保証徴求	上期 0% 下期 -% 通期 0%	上期 0%
	・経営者からの保証徴求なし	上期 0% 下期 -% 通期 0%	上期 0%